

2015年6月発行

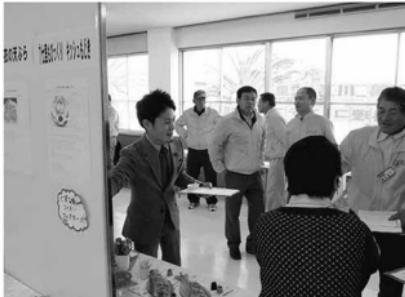
# 安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097  
 ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/index.html>

発行: 安房農業事務所改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



お菓子部門 枝豆の茶巾絞り



審査の様子 ◀



第3回 鴨川七里®料理コンテスト

料理部門  
枝豆のキッシュ ◀

枝豆料理コンテスト 受賞者と受賞作品

鴨川七里®を育てる会の開催する枝豆料理コンテストが第3回を迎え、38点の応募がありました。2月15日に試食審査が行われ、1次審査を通過した24点から、料理部門とお菓子部門の優秀賞と特別賞が選ばれました。

どの作品も鴨川七里の香りや、鮮やかな緑を生かす力作揃いで甲乙つけがたく、審査員を悩ませていました。審査員長からは「おいしさはもちろん、お店に並ぶ姿が想像できる意欲作だった。ぜひ商品化してほしい。」と講評がありました。審査後は全作品を一般公開し、来場者による試食が行われ好評でした。

今後も鴨川七里®で地域が元気になるよう支援していくきます。

鴨川七里®枝豆料理コンテスト開催

集まれ、味自慢！



## 水稻登熟期の管理と収穫、乾燥、調製について

登熟期までまもなくです。

適切な管理でおいしいお米を収穫しましょう。なお登熟期から収穫までは以下の点に注意して栽培してください。

### ◆ 糜肥

コシヒカリは出穗前20~18日頃(親穂の幼穂長が1cmになったとき)に穂肥をします。遅くなりすぎないように注意しましょう。

### ◆ 水管理

登熟期は粒を十分太らせるために水分が必要とします。出穗2週間後~出穗25日後までは間断かんがいで田を湿った状態に保ちます。

### ◆ 収穫適期

少し緑色を帯びた糬(帶緑色糬)が15%程度になる時期が収穫適期です。イネは一齊に花が咲くわけではなく糬一つ一つの登熟にばらつきがありますので、刈取りが早すぎれば青米や未熟米が多く、刈り遅れれば胴割米



穂肥適期の幼穂  
(幼穂長:約1cm)

が多くなります。

◆ 調製作業 乾燥は丁寧に行つてください。仕上げ水分は14.5%~15%とします。

また粒が大きい米ほど見た目がよいだけではなく食味も良い傾向があります。なお網目を変えても調製玄米の量が多すぎると十分な選別ができません。

### ◆ 収穫後

稲刈り後に早めの耕転をすると防除が難しい多年生雑草を抑制することができます。

※栽培や農薬等に関する詳細は当事務所改良普及課までお問い合わせください。

## 耕作放棄地を利用した放牧の取組みについて

管内の中山間地域では耕作放棄地の増加が深刻化しています。

この対策として、当事務所では平成18年から23年までの6年間に12戸の農家に耕作放棄地を利用した放牧を推進してきました。しかし、東日本大震災が発生し、平成23年以来は採草地における放射線量の規制から放牧は休止していました。

そこで、放牧の再開を目指し、平成25年度に当事務所では、放牧を行っている農家同士の情報交換の場づくりと、これを契機とした「レンタカラ放牧」を推進することにしました。26年度には鴨川市、南房総市の和牛繁殖農家の黒毛和牛を放牧するための連絡調整機能の確立や、放牧地造成のサポートを行い、27年度には管内の生産者を中心に全

システムの紹介を考えています。

このような事例を畜産農家で活用するため、27年1月に「安房放牧研究会」が設立されました。現在8名の小さな組織ですが、当事務所では放牧に関する情報交換を推進し、更には耕作放棄地を利用した放牧地の拡大に向けてサポートしていきたいと考えています。



平成25年度の放牧アドバイザーを招いての現地指導会と情報交換の様子

● 安房地域の  
若手農業者を紹介

今回は、鋸南町で観光いちご狩り園（ファミリーファーム保田）に取り組んでいる、矢生さんを紹介します。

矢生さんは、大学を卒業後、一般企業の営業職に就職。仕事をしつつ休日は実家のいちご狩りの手伝いをしていました。休日の手伝いをしていく内に、子供からお年寄りまで人気のあるいちごの将来性に魅力を感じ、鋸南町をいちごで盛り上げたいと考えて就農しました。

本格的に就農を始めて、両親とともに経営するに従い、いちごの栽培の難しさを実感していました。しかし、毎年出てくる課題が解決できた時や、消費者から「美味しい」と直接言られた時の喜びも大きく、やりがいのある仕事だと感じたそうです。

今後の展望としては、リビング農業園（ファミリー農園）を構築して、観光客だけでなく、町内の宅配や地域のサービス業にも活用してもらえるように活動にしたいと考えています。



たわわに実るいちごを前に

JJA安房、南房総農業支援センター及びJJA安房菜の花部会の協力の下、播種や東調製の実習を中心とした全3回の研修で、参加は無料です。

**食用ナバナチャレンジセミナーの御案内**

第一回は8月上旬を予定しています。新規に食用ナバナを栽培し出荷したい方、7月15日までにお気軽に担当（橋本）まで御連絡ください。

千葉県フラワーフェスティバル及び関東東海花の展覧会受賞者

第35回千葉県フラワーフェスティバル農林水産大臣賞  
薦岡広明（南房総市）  
ファーレンブンス

第64回関東東海花の展覧会受賞者

農林水産大臣賞  
早川剛史（南房総市）  
ストック

平成26年文化の日  
千葉県農林水産功劳者  
表彰受賞団体

館山市神戸花卉生産組合  
上区自治会（南房総市）  
自然の宿くすの木の運営等

改良普及課職員紹介

改良普及課長 小林 寛子  
主席普及指導員 渡邊 照和  
【館山グループ】

石井 義久 グループリーダー  
川名 瑞枝 （担当生活）  
大山 康彦 （担当花き）  
吉田 明広 （担当果樹・畜産）  
清水 ゆかり （担当作物）  
渡邊 信吾 （担当野菜）

齊藤 秀一 グループリーダー  
加藤 美紀 （担当作物・果樹）  
上堀内里紗 （担当野菜・生活）  
中原 祐樹 （担当畜産）  
白井 徳一 （担当野菜・花き）  
【鴨川グループ】

石川 浩司 グループリーダー  
【南房総・鋸南グループ】  
金子 貴一 （担当畜産）  
田中 千華 （担当花き）  
影山 浩司 （担当果樹・生活）  
橋本 威 （担当野菜）  
後藤真紗子 （担当野菜）  
林 聖麗 （担当花き）  
小宮 良美 （担当作物）  
松永 大樹 （担当野菜）